

# 令和5年度 施政方針

「施政方針」とは、市政運営に関する市長の考え方や方向性を示すものです。2月28日に開会した令和5年第1回市議会定例会で篠原市長が施政方針演説を行いました。今回はその内容をお知らせします。



四国中央市長  
篠原 実

## 四国のまんなか 人がまんなか 支え合い 未来へつなぐ 魅力都市

### はじめに

トルコ、シリアの大地震がありました。市内の企業から多額の募金と紙製品を被災地へ送るとのお話をすぐに頂きました。まさに、地震は明日は我が身であります。そのことから、自分たちも日頃の防災に非常神経を使っておくべきではないと感じております。

また、ロシアとウクライナの間で悲惨な戦争状態が続いております。戦争が始まれば、必ず結果として弱い立場にあるものが、つらい悲惨な目に遭います。理屈はいろいろありますけど、ぜひ、人間の命を暴力で抹殺する戦争の一日も早い終息、それが私の願いでもあります。そのことを最

初に申し上げて、施政方針を申し上げます。

私もこの職を受けて約10年になります。今回の施政方針につきましては、この10年間の自分自身の市政を振り返り、そしてなおかつ今後どうすればよいかを想定しながら、この度策定しました第三次総合計画の大枠を基に申し上げます。



### 第三次 四国中央市総合計画

市における行政運営の最上位計画であり、まちづくりを戦略的に実施するための基本的な指針となるものです。第三次四国中央市総合計画は、令和5年度からの10年間を計画期間として、「四国のまんなか 人がまんなか～支え合い 未来へつなぐ 魅力都市～」を将来像に掲げ、本市に関わりを持つ「産業」や「人」を磨き上げることで、市民の皆さまに幸せを実感していただくことを念頭に、施策や取り組みの方向性を決めました。

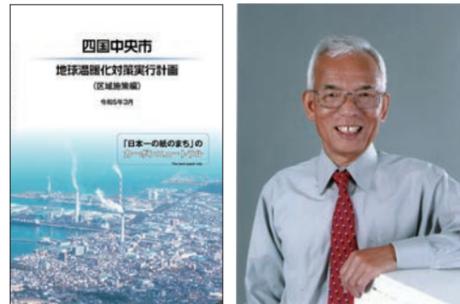
### 自然 環境 資源・エネルギー

## 環境資源を未来へ残す まちづくり

### 地球温暖化対策 ごみ処理施設再編事業

この度策定した地球温暖化対策実行計画は、一昨年の真鍋淑郎博士のノーベル賞の受賞と相まって、二酸化炭素の地球温暖化に関連した大きな政策であります。地域・事業者と連携して目の前のできることから地道な取り組みを継続しなければならぬと考えています。

また、ごみを燃やさず資源化できる「トンネルコンポスト方式」の処理施設について、積極的に視察、情報収集を行っています。新居浜市や西条市とのごみ処理の広域化も含めて、本市が取り組むべき課題を抽出して、検討体制を整え、取り組んでいきます。



地球温暖化対策実行計画 真鍋淑郎 博士



クリーンセンター (中之庄町)

### 産業

## 活力と魅力を創る まちづくり

### 日本一の紙のまち 城山下臨海土地造成事業

昨年末、本市は紙関連の製造品出荷額等において、17年連続で全国1位になりました。それはまさに、先人の方々や、現在ご苦労いただいている事業者の方々の長年にわたる努力の結果であります。私どもも、謙虚にそれを受け止めて、後世に残せるよう常に努力していきます。また、産業基盤の整備と

して、国道や県道、生活道路、港湾の整備を進めていくほか、川之江の城山下臨海土地造成事業の埋立工事に着手します。この事業は、将来の企業用地の確保と市民の生命・財産を守る防災減災対策という2つの視点を持つ重要事業と位置付け、取り組んでいきます。



紙の初市



城山下臨海土地造成事業予定地 (川之江町)

## にぎわいと定住を支えるまちづくり

### 道路整備 公営住宅環境整備 空家対策

都市基盤の整備については、新法皇トンネルの建設など、要望活動も含め取り組んできました。未開通区間のある国道11号川之江三島バイパスについては、関係機関と連携して、一日も早い全線開通に向けて取り組みます。



国道11号川之江三島バイパス東端(上分町)

また、老朽化した公営住宅の環境整備に取り組みますが、建て替えなどには、お住まいの皆さまに、なるべく経済的な負担をお掛けしないように、知恵を絞って進めていきます。



法皇トンネル(1960年開通)

そして、空き家対策は専門家の方にご指導いただきながら、官民連携で適切な対応を進め、安全で質の高い居住環境の実現を目指し、取り組みます。

## 未来を拓く人を育むまちづくり

### ICT教育の推進 幼児教育の強化

GIGAスクール構想により、一人1台端末を導入して以降、本市のICT教育は、各方面から高い評価を受けています。今後も現状に満足することなく、教育現場のICT化を進め、多様化する一人ひとりを大切に、個別最適化された学びを充実するなど、教育分野のDXをより進化させていきます。



Googleの協力で実施したワークショップ

また今回、教育委員の定数を増やすことにしました。今後、幼児教育の分野に非常に関心と経験を持った方に就任してもらい、より深く議論を重ね、幼児教育の拡充を図ります。



芸術士の話を聞く園児たち

そして、この歩みを止めることなく、全ての子どもたちの健やかな成長を支えるため、常に一歩先を行く気概で教育環境の整備に取り組みます。

## 生涯安心して暮らせるまちづくり

### 中核病院の整備 太陽の家の指定管理 ねんりんピクニックの開催

中核病院の建設は、市民の健康と生活に関わる重要な案件です。公立学校共済組合には、一日も早く目に見える形となるよう着実な進行をお願いするとともに、周辺の道路環境などの利便性を高められるよう、環境整備に取り組みます。



太陽の家(妻鳥町)

また、太陽の家は、土砂災害警戒区域からの早期移転と利用者の地域移行

の推進もあり、民間移譲を見据えて2年間の指定管理による運営を行います。そして、本年10月には「全国健康福祉祭(ねんりんピクニック)」が開催され、本市では「ラグビーフットボール」と「健康マージャン」が行われます。高齢者の健康増進や生きがいづくりに繋がるよう、開催機運を高め、大会成功に向けて取り組んでいきます。



カウントダウンボード(R4.10.31 除幕式)

## ともに築く持続可能なまちづくり

### 人口減少・少子化対策 DX推進

人口減少・少子化対策として、空き家バンクの活用などの移住・定住促進策や子どもを安心して産み育てられる環境づくりを積極的に展開します。また、未来を担う若者にまちへの愛着や誇りを持ってもらう、シビックプライドの醸成に繋がる取り組みを進めます。

更にDX推進戦略の下、デジタル技術を活用した市民サービスの向上や業務効率化を図り、誰もが暮らしやすい地域社会・経済に活力があるまちづくりを目指します。



子育て・子育て応援都市を目指します(R5.3.16 ベビーファースト宣言)

### おわりに

新型コロナウイルス感染症は5月8日から5類に移行しますが、新型コロナウイルスがなくなつたわけではありません。コロナ禍から脱却し、新たな日常生活を過ごしていく中、細心の注意を払いながら市政を進めてまいります。

これからの行政運営において、人口減少などさまざまな課題がございますが、市の未来を見据え、そしてSDGsの視点を併せ持ちながら、今までのやり方に依存することなく、柔軟な新しい発想で取り組んでまいります。

市民の皆さまにおかれましては、何とぞご理解、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

四国中央市長  
篠原 実